

廿日市市におけるウクライナ避難民の受入れについて

連日の報道にもあるとおり、ロシアによるウクライナへの武力侵攻でウクライナ国民の皆様がポーランドなどの隣接する国に避難している状況であり、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によると「第2次世界大戦以降、欧州で最も急速に拡大している危機」と警告し、侵攻が続けば避難民が400万人に達すると予測しています。

日本国内にとどまらず、世界中の人々が一日も早い平和的解決を望んでおり、本市として市議会議長との連名でロシア大統領及び駐日ロシア大使に対して武力侵攻に対する抗議の意を示し、平和的解決を求めています、未だ解決に向かっている状況にあります。

このような現状を踏まえ、世界遺産である厳島神社を有し、多くの外国人に親しみを持っていただいている本市としては、今こそ、国境の枠を超えた人道支援の一助を担い、頼るべきものを持たない人々を支援したいとの強い思いから、日本へ避難されてきたウクライナ国民の皆様を積極的に受け入れ、支えてまいりたいと考えています。

令和4（2022）年3月13日

広島県廿日市市長 松本太郎